

ひのほら 議会だより

8

2015.8.1
No.142

新議会構成が決まりました



平成27年檜原村議会第1回臨時会が5月11日に開催され、正副議長をはじめ、各委員会・役職など新たな議会構成が決められました。

議長

森田 ちづよ



副議長

山口 和彦



議長・副議長

就任の挨拶

5月11日に開催されました臨時会において議員の皆様方のご推挙をいただき、議長並びに副議長の要職に就かせていただきました。

檜原村は現在、自立する村としての生き残りをかけて「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に取り組んでいます。村づくりを推進していくうえで議決機関としての議会に課せられた役割は大きく、職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

議会運営につきましては、議会が円滑に行われるように努めると共に、住民の皆様へのニーズに応えられるよう執行機関と議会が車の両輪となり、「安心・安全な村づくり」と住民福祉の向上のため努力する所存でございます。

村民の皆様におかれましては、村議会へのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

氏名 清水兵庫 (62歳)
会派 清水会
家族 妻・子3人・姉
趣味 読書・畑
議員歴 2期目
議席番号 6



氏名 浜中由造 (61歳)
会派 公明党
家族 妻・母
趣味 畑・読書・スポーツ
議員歴 1期目
議席番号 1



氏名 山崎源重 (57歳)
会派 檜原新政会
家族 妻・子3人・母
趣味 山
議員歴 4期目
議席番号 7



氏名 中村賢次 (63歳)
会派 檜原新政会
家族 子3人・孫3人・母
趣味 上達しないゴルフ
議員歴 2期目
議席番号 2



氏名 山口和彦 (49歳)
会派 檜原新政会
家族 妻・子2人・母
趣味 料理作り
議員歴 2期目
議席番号 8



氏名 吉川洋 (66歳)
会派 無所属
家族 妻・子2人
趣味 ギター・卓球・ゲートボール
議員歴 1期目
議席番号 3



氏名 清水満男 (67歳)
会派 檜原新政会
家族 妻・子3人
趣味 家庭菜園
議員歴 1期目
議席番号 9



氏名 森田ちづよ (67歳)
会派 檜原新政会
家族 夫・子2人
趣味 料理・歌・園芸
議員歴 2期目
議席番号 4



氏名 峰岸茂 (64歳)
会派 檜原新政会
家族 妻・子3人・母
趣味 家庭菜園
議員歴 1期目
議席番号 5



檜原村議会議員役職構成

◎委員長 ○副委員長

各種委員会名		氏名
正副議長		議長 森田ちづよ 副議長 山口 和彦
常任委員会	総務常任委員会委員	◎中村 賢次 ○峰岸 茂 吉川 洋 森田ちづよ 清水 兵庫
	産業建設常任委員会委員	◎清水 満男 ○浜中 由造 山崎 源重 山口 和彦
議運	議会運営委員会委員	◎清水 兵庫 ○峰岸 茂 浜中 由造 吉川 洋 清水 満男
檜原村監査委員		山崎 源重
一部事務組合	阿伎留病院企業団議会議員	監査 清水 兵庫 峰岸 茂
	西秋川衛生組合議会議員	監査 中村 賢次 清水 満男
	秋川流域斎場組合議会議員	副議長 山口 和彦 浜中 由造
村内各種委員会	檜原村国民健康保険運営協議会委員	浜中 由造 峰岸 茂
	檜原村民生委員推薦会委員	森田ちづよ
	檜原村青少年問題協議会委員	吉川 洋 山口 和彦
三多摩上下水及び道路建設促進協議会委員		山口 和彦 中村 賢次 清水 満男
多摩地域都市モノレール等建設促進協議会委員		森田ちづよ 清水 満男
三鷹・立川間立体化複々線促進協議会委員		森田ちづよ 中村 賢次
西多摩地域広域行政圏協議会委員		森田ちづよ 山口 和彦 中村 賢次
秋川流域市町村下水道建設促進協議会委員		会長 森田ちづよ 理事 山口 和彦 中村 賢次 清水 満男
秋川南岸道路建設促進協議会委員		副会長 清水 満男 監査 浜中 由造 山崎 源重 山口 和彦
主要地方道上野原・あきる野線建設促進協議会委員		常任理事 森田ちづよ 常任理事 清水 兵庫 理事 中村 賢次 理事 清水 満男 監査 山口 和彦 浜中 由造 吉川 洋 峰岸 茂 山崎 源重
奥多摩・檜原間林道鋸山線改修都道編入促進協議会委員		浜中 由造 中村 賢次 森田ちづよ 峰岸 茂 山口 和彦 清水 満男
JR五日市線改善促進協議会委員		浜中 由造 中村 賢次 森田ちづよ 山口 和彦 清水 満男
秋川流域がん対策推進議員連盟		副会長 峰岸 茂 浜中 由造 中村 賢次 吉川 洋 森田ちづよ 清水 兵庫 山崎 源重 山口 和彦 清水 満男
日の出町谷戸沢廃棄物広域処分場環境影響評価委員会委員		清水 満男

このようなことを審議いたしました

平成27年第2回定例会

6月4日～19日の16日間、開催し、
村長提出案件12件が提出されました。

条例

議案第49号

榎原村介護保険条例の一部を改正する条例

(説明)

介護保険法施行令等の改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

議案第50号

榎原村行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例

(説明)

榎原村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定及び推進にあたり、村行政改革推進委員会において民間の意見集約を行うため、条例の一部を改正するものです。

(株)土屋土建
代表取締役 土屋龍生

議案第52号

榎原小中学校非構造部材耐震化工事請負契約について

(説明)

○契約の方法 指名競争入札
○契約金額 8千640万円
○契約の相手方 佐久間建設(株)

代表取締役社長 佐久間一三

議案第53号

消防ポンプ車購入契約について

(説明)

○契約の方法 指名競争入札
○契約金額 2千328万4千800円
○契約の相手方 (株)きの防災
代表取締役 佐藤剛伸

議案第55号
榎原村教育委員会教育長の任命について

(説明)

榎原村教育委員会教育長に、新たに中村宗嗣氏を任命するものです。

議案第56号

榎原村監査委員の選任について

(説明)

榎原村代表監査委員に、引き続き福田宮夫氏を選任するものです。

議案第57号

榎原村固定資産評価審査委員会委員の選任について

(説明)

固定資産評価審査委員の任期満了に伴い、引き続き清水正美氏を委員に選任するものです。

補正予算

議案第58号

平成27年度榎原村一般会計補正予算(第1次)

(説明)

補正額1億9千945万8千円を増額し、総額を32億7千945万8千円としました。

議案第59号

平成27年度榎原村介護保険特別会計補正予算(第1次)

(説明)

歳入における科目間の金額調整を行いました。

陳情

陳情1件

採択となったもの

〔総務委員会〕

○榎原村空き家等対策と活用事業についての陳情

陳情者 丸山 美子

契約

議案第51号

配水管布設替工事請負契約について

(説明)

○契約の方法 指名競争入札
○契約金額 8千964万円
○契約の相手方

人事

議案第54号

榎原村副村長の選任について

(説明)

榎原村副村長に、新たに八田野芳孝氏を選任するものです。

(説明)

榎原村教育委員会委員に、新たに土屋要一氏を任命するものです。

檜原村行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例に対する討論

反対討論

吉川 洋

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」というのは村の大きな事業であり、これをやるにはビッグデータの活用や重要業績評価指標（KPI）も必要になる。これを村の職員だけでやるのは困難である。だからこそ国は「創生総合戦略本部」には住民や金融機関や大学の先生を入れ、パブリック・コメントもしなさいと言っている。

しかし、今回の条例案はそのような人々を行政のチェック機関である「行政改革推進委員会」に入れ、「総合戦略推進本部」は村の職員だけで構成するとう。これでは、創生総合戦略と行政改革推進委員会の組織が混同してぐちゃぐちゃになる。

議員が慎重審議して「9月に再提出しなさい」と意思表示すべきである。よって議案第50号には反対する。

賛成討論

山崎 源重

先般、私は一般質問でこの件について質問させていただいた。非常に大事なことだと認識している。

ただ、檜原村の場合、物理的に不可能なこともあり、来年の3月までに作らなければならぬという前提もある。今すぐに始めなければならない。

チェックができないと言われる方もいるが、議会だつてチェックができる。12名の審査を受けただけというだけで、私の賛成討論とする。

賛成討論

山口 和彦

檜原は本当に小さな自治体だ。県などの大きな組織では、本来のやり方があるのかもしれないが、現状を見ると、私は、檜原は檜原のやり方で、庁内に推進本部を作るといふこの形でいく

のがいいのではないかと思っている。推進本部で決まったことを議会でもチェックしていけばいいのではないかと思ひ、賛成討論とする。

一般会計補正予算に対する討論

反対討論

吉川 洋

総合公社の事務所新築及び複合施設の1階整備工事の5千380万円、これらの内容についてもすつきりしない。ミニスーパーを予定し、ある生協との話を進めているというが、これもどうなるかわからない。公社の立ち上げは来年の4月以降と言っていたのに、総合公社を登記しないうちに機能としてのものを入れていく。そうなると公社としての責任や組織体制も全く不明だ。これでは賛成できない。

次に、下川乗90号線が分断されているのは現地で確認し話も聞いた。しかし、それをつなげても通り抜けできない突き当り

の道である。今後Iさんの土地を買収し建物補償も出ると1億円近くかかると思われる。費用対効果を考えると補正予算での緊急性もないので、反対する。

賛成討論

中村 賢次

今回の補正予算は、6月補正では異例ともいえる約2億円を計上している。今まで徹底した行政改革によって基礎体力をつけた檜原村が、いよいよ村の自立存続のために「攻めの行政に打って出た」そんな印象を持っている。

また、村民の要望に迅速にこたえつつ、福祉の向上にも配慮された補正予算といえる。

村の基金の運用については様々な意見がある。しかし今回のような積極的な補正予算は十分な基金を持っているからこそ組めるものである。市町村のやめる気が試されている状況下で、豊富な資金残高を持つ財政面のアドバンテージを生かし、やるべき施策を躊躇なく迅速に実施されることを期待し、賛成討論とする。

賛成討論

清水 満男

補正予算で2億円弱という予算が計上され、坂本村長の村政にかける意欲を感じている。

公社設立に向けた公社棟の事務所建築予算が計上され、村の新しい試みとしての企画展開に大いに期待を持っている。空き家対策に関する予備調査及び空き家のある土地、家屋の購入予算等、今後の経過に注目したい。

振り込め詐欺防止機能付電話の設置、さらに住宅用火災警報器の点検や設置補助等の予算が計上され感謝申し上げる次第である。このほかにも多岐にわたる村の課題を解消するため、予算を積極、果敢に計上されることを信じている。

今後さらなるスピード感を持った事業執行と共にコスト意識を持ちつつ、村の課題解決に向け、努力していくことをお願い申し上げ賛成討論とする。

議決結果は次ページ

平成27年第2回定例会で審議された議案と議決結果

区分	議案名	議席番号									議決結果
		1	2	3	5	6	7	8	9		
		浜中 由造	中村 賢次	吉川 洋	峰岸 茂	清水 兵庫	山寄 源重	山口 和彦	清水 満男		
条例	檜原村介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例	檜原村行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
契約	配水管布設替工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
契約	檜原小中学校非構造部材耐震化工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
契約	消防ポンプ車購入契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	檜原村副村長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
人事	檜原村教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
人事	檜原村監査委員の選任について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	同意
人事	檜原村固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	同意
人事	檜原村教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
補正算	平成27年度檜原村一般会計補正予算(第1次)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
補正算	平成27年度檜原村介護保険特別会計補正予算(第1次)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情	檜原村空き家等対策と活用事業についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

平成27年第1回臨時会

5月11日の1日間開催し、村長提出案件3件が提出され、すべてが原案どおり可決されました。

専決処分

議案第46号

専決処分の承認を求めることについて(檜原村税賦課徴収条例等の一部を改正する条例)
(説明) 地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、条例の一部を改正するものです。

人事

議案第48号

檜原村監査委員の選任について
(説明) 議会選出による村監査委員に、山寄源重氏を選任するものです。

その他

議案第47号

檜原村の位置及び広ぼうの一部変更について
(説明) 国土地理院による面積計測方法の変更に伴い、檜原村の位置及び広ぼうの一部を変更するものです。

平成27年第1回臨時会で審議された議案と議決結果

区分	議案名	議席番号									議決結果
		1	2	3	5	6	7	8	9		
		浜中 由造	中村 賢次	吉川 洋	峰岸 茂	清水 兵庫	山寄 源重	山口 和彦	清水 満男		
専決処分	専決処分の承認を求めることについて(檜原村税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
人事	檜原村監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
その他	檜原村の位置及び広ぼうの一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

総務および産業建設委員会報告

総務委員会報告

総務委員会は6月11日に開催し、1件の陳情について審議を行いました。

○檜原村空き家等対策と活用事業についての陳情

審査結果 採択

本陳情の趣旨は「国、都、村の空き家等対策に関する制度の連携をもとに、村内空き家対策の計画策定の道筋を具体的に示すとともに、地域生活環境の保全を図るため、国土交通省の空き家再生等推進事業を1日も早く導入し、村の制度を構築するよう働きかけてほしい」とする内容です。

委員会では村内の空き家物件の一例を外側から現地確認し、空き家の形態についての認識を深めると共に、村が定住促進空き家活用事業実施要綱に基づき

取り組んできた事業に対しては委員から活発な発言が相次ぎました。

審査の結果、陳情者の趣旨や目的は理解できるし、村も空き家対策に取り組んできた。空き家対策の推進に関する特別措置法に基づく陳情であり、村にとっても良いことだと判断するなど「採択としたい」とする意見が大半を占め、採決の結果「採択すべきもの」と決しました。

委員長 中村 賢次

産業建設委員会報告

産業建設委員会は6月12日に開催し、3件の所管事務調査を行いました。

○払沢の滝遊歩道整備工事

契約金額 199万8千円
契約業者 草間工業(株)

平成22年度に策定した払沢の滝周辺整備計画に基づき平成26年度に実施された工事で、払沢の滝遊歩道の忠助淵付近から滝壺手前の休憩小屋付近までの延長320mにウッドチップ約50㎡を敷設したものです。

払沢の滝の観光地としてのイメージアップと景観の向上及び来客者が歩きやすくなるという効果が期待されます。

○立山林道開設工事

契約金額 3千894万4千800円
契約業者 (株)市川建材土木

立山林道は茅倉地区と下元郷泉沢地区を結ぶ、延長2千992m、幅員3.7mで計画されている林道です。

平成26年度は108mの開設工事を行い、起点からの開設済延長は、218mとなっています。コンクリートを使わない補強土壁で構築された林道は、自然にも優しく、今後の森林整備に大きく活用されることが期待されます。

委員長 清水 満男

平成27年度については工事延長150mを計画しているとの説明が担当者よりありました。

○村道第54号大岳線改修工事

契約金額 1千454万7千600円
契約業者 (株)土屋土建

村道第54号大岳線改修工事は村道第81号暮沼線との合流点から、村道第53号中里線の合流点までの約100mを災害時の迂回路として車両が通行できるように拡幅工事を行ったものです。



総務委員会



産業建設委員会

登壇7人 村政を問う

一般質問

6月議会の一般質問は6月4日に行われました。内容は、要約して受付順に掲載しています。

山口 和彦

議員



観光客の受け入れ態勢について

観光・地域振興に役立つ総合計画を策定する

特産物の販売を行い、村の魅力を発信している。

②観光基盤の整備として弘沢の滝遊歩道の整備・大岳山周辺・浅間嶺・陣馬尾根等の景観確保事業を行う。

情報発信の推進としてパンフレット作成、観光施設等の誘導案内看板更新、観光PR活動用自動車購入補助を行う。

質問 改めて檜原村の観光について見直す時期と感じている。観光事業全体を統一的にまとめ推進していく基本的な構想を策定することが必要ではないか。

産業環境課長 観光に関する総合計画を策定するための予算を新規に計上した。

質問 ガイド養成についても検討していただきたい。エコツーリズムの考え方も取り入れた形で観光振興だけでなく地域振興に向けた計画を策定して欲しいが。

産業環境課長 ガイド養成やエコツーリズムの考え方を取り入れた計画を策定し、観光・地域振興に役立てていきたい。

質問 ①観光客増加に向けた新たな取り組みを考えているか。
村長 ①パンフレット配布・ホームページやフェイスブックによる情報提供・観光協会を通じてイベント開催や観光PR・

山崎 源重

議員



2040年問題について

総合戦略に組むことは可能か

るのか。

村長 ①自治体消滅の可能性についての提言は地方自治体の将来人口を分析した将来予測のひとつに過ぎないものと考えている。

市町村が自ら合併したり、地方自治制度の抜本的改革がない限り、自治体の消滅はない。

②檜原村総合戦略推進本部で素案の検討と策定を、外部の檜原村行政改革推進委員会で意見集約を行い、平成27年度中に策定する。

③住民代表の委員によって構成される檜原村行政改革推進委員会で産業界や行政機関の関係者に参加していただき、広く民間の意見を求める予定である。

質問 私が以前、一般質問で提案した「バイオマス発電」や「道の駅」の企画も長期戦略作成の候補として再考していただきたいが。

質問 2040年問題について伺う。
①村はこの問題をどのように捉えているか。
②中長期ビジョンと総合戦略はだが、いつどのようになっているのか。
③地域全体が共有し対処することが望ましいが、住民参加はあ

企業財政課長 木質バイオマス関連の施策や道の駅の整備等は構想等を含めて具体的に総合戦略に組むことは十分可能だと考えている。

中村 賢次

議員



空き家対策について

特定空き家への対応を 順次行う

があると思われる。
②実数は把握していないが、今年度中に空き家実態調査を実施予定。

③現在、法改正に伴う空き家所有者からの問い合わせはない。

質問 特定空き家に該当した場合、今後どのように扱われるのか。

企画財政課長 本年5月26日施行の法に基づき、特定空き家と思われる空き家への立ち入り調査や、所有者等への指導、勧告、命令、代執行などの段階的な措置が法による所定の手続きにより可能となる。

質問 空き家を有効活用するための業務に、地域おこし協力隊を利用できないか。また、IT関連の企業誘致は考えられないか。

質問 ①村内には空き家と定義される住宅はどのくらいあるか。
②特定空き家と分類される空き家は。
③空き家等対策の推進に関する特別措置法の施行後の現状は。

村長 ①現在居住不可能な空き家を含め、約100戸前後の空き家

を5割から9割とし、上限額も

浜中 由造

議員



村における獣害対策の 充実・拡充について

新しい対策について 調査・検討していく

8万円から24万円としている。本年度は既に9件の申請があった。
②東京都から事業費の50%の補助を受け、猟友会に捕獲をお願いしている。

③新しい対策について調査・検討はしているが、具体的な支援については今後の課題である。

質問 ①設置した以外の畑についても補助対象としていただくような購入費補助の柔軟な要綱の改正をすることはあるか。

②家庭用電源100ボルトを利用した電気柵やセンサーネットワークによる獣害防止システムの導入はどうか。

産業環境課長 ①複数回利用できるように要綱の改正内容を内部分で検討し、利用しやすいものとさせていただく。

②畑により規模や条件が異なるので、よりよい方法を提案させていただきながら購入費補助を活用してほしい。センサーネットワークシステムについては事業費等を確認し、検討したい。

質問 ①獣害防止用電気柵購入費の現状について
②シカ害防止対策費について財政支援を要望する考えはあるか。
③有害鳥獣対策として電気柵以外のシステム等に対する支援は。

村長 ①平成26年度より補助率

を5割から9割とし、上限額も

災害時、村民及び村の観光客らを避難所に誘導するための標識の設置について

可能であれば予算化したい

質問 今や災害はいつ何時やってくるかわからない。村民や村を訪れる観光客の安全確保は近々の課題である。そこで災害時に避難所へ誘導する標識の設置が必要と考える。自治会を明記した表示板を利用して、避難所の場所、距離や方向を明記した標識を追加してはどうか。

村長 観光客への周知の方法としては有効と考えるので、設置できる標識の大きさ、表示方法等を検討し、可能であれば予算化したいと考えている。

質問 作成が予定されているハザードマップをバス停の待合所に提示すれば、大雨等で孤立し、バスが来ない場合などに観光客に避難場所が分かるといいと思うが、このようなことも可能か伺う。

総務課長 大きなコストもかからず対応できるので、観光トイレ、バス停、バス待合所内のス

ペーパースが確保できれば設置していききたい。また可能な限り他国語表示も考えながら、よりよいものを設置できるように検討したい。



清水 満男

議員



安全・安心村づくり防災活動 消防団員報酬について

近隣の状況を調査し、特別職報酬等審議会に諮問したい

酬アップが図れないか。

村長 ① 団長20万円、一般団員3万円、機能別団員1万円と

なっている。

② 報酬変更は特別職報酬等審議会に諮問が必要ですが、すぐには

難しい。報酬が5万円を超える

と源泉徴収され、手取りは減額

するが、本年度よりこの減額相

当分を分団等の運営費として上

乗せし支払う。

③ 本年度は特別職報酬等審議会

の開催を予定しているが、報酬

と出勤手当について近隣の状況

を調査し、諮問したいと考えて

いる。

質問 前回の報酬改定はいつごろか。近隣市町の報酬や出勤手

当は。

総務課長 平成8年より現在の金額。報酬は青梅市の団員が7

万500円、奥多摩町が3万5千

円。西多摩3町の出勤手当は1

る。審議会に諮問させていただ

きたい。

安全・安心村づくりの 防犯対策について

振り込め詐欺防止機能付電話機を希望世帯に配布

質問 村では各家庭に振り込め

詐欺防止の電話機の導入を検討

していると聞かすが、次の点につ

いて伺う。

① 振り込め詐欺防止電話の具体

的な案は。

② 導入にかかる経費及び村で補

助する場合の負担率について

村長 ① 登録がない電話番号か

らの電話は、本人に名前を名乗

らせてから電話に出ることがで

きる機能及び録音装置がついた

本体と子機1台のセットを希望

する全世帯に配布しようとする

もので、補正予算で6月定例会

に上程しようと考えている。自

ら電話機を購入した場合は金額

の一部を補助する。

② 村で配布予定の電話機は概ね

1万5千円程度のもの。より多

機能なものという方には1万5

千円を限度に補助しようと考えて

質問 配布する電話機の設置、

電話帳の登録は本人がするの

か。スケジュール等がわかった

ら教えていただきたい。

総務課長 電話機設置は業者に

依頼し、電話帳登録については

原則本人が家族にお願いしよ

うと思っているが、それが無理な

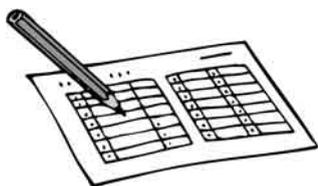
方は承諾いただければ業者にお

願いできないか考えている。補

正予算可決後7月か8月の広報

で募集し、事業を進めていき

たい。



清水 兵庫

議員



じゃがいもの地産地消の取り組みについて

有効な施策であれば検討する

そこで村は地産地消を考える団体・個人が名乗りを上げた場合、作物の品質を保持し、安定供給するための保管設備などを含めて支援する考えはあるか。

村長 じゃがいもは村を代表する農産物である。焼酎、アイス、村に伝わるオイネイモを使った物も開発されるなど消費形態も変化している。村としても、身近な食材であり、お土産品と共に関心がある。情報発信媒体とも考え、安定供給ができれば、さらに利用価値は高まると考える。

今後は遊休農地の活用、特産品の開発、新しい食の研究として、各団体がそれぞれ行うのではなく、村全体を統一した取り組みが必要と考える。村総合計画の特色ある農産品づくりにあわせて、有効な施策であれば検討したいと考える。

災害への備えについて

防災訓練を実施している

質問 東日本大震災は多くの子どもが下校時や放課後に起きた災害である。各学校では防災マ

ニユアルの見直しに取り組んでいると聞く。村でも災害に備える学校、家庭で何ができるかを想定し、準備、実施していると思うが、以下の件について考えを伺う。

①子どもの在校時に災害が起きた場合

②放課後や長期休みのときどうすべきか。

③日ごろからできる防災教育や心がけておくべきこと。

教育長 ①雨や雪の場合、道路管理者の連絡を受け、連絡網などで保護者に連絡し、バスがとまる前に下校させている。

②公共施設を利用している場合、各施設の災害時の対処により安全確保を図る。長期休みや在宅時は、学校よりメール配信と直接連絡により安全確認を行い、今後の連絡や指示等を行う。

③月1回の避難訓練で様々な状況下での安全確保を指導。夏季休業中に大規模災害での帰宅困難を想定し、小中合同宿泊防災訓練を実施している。

吉川 洋

議員



村長の政治姿勢について

基金は財政運営の健全性を担保しつつ総合計画に活用する

のように図るのか。

③今まで蓄えた財政調整基金等をどう使うのか。

④村は世界遺産に匹敵するほどの素晴らしい自然と伝統文化を備えていると思うが、村長の所感。

村長 ①私の村政運営における理念であり、究極の目標である。

②本年度中に策定予定の総合戦略は、人口ビジョンにおける人口減少へ対応する各種施策の構築が中心となる。総合戦略は総合計画との整合性に留意し、実施計画の基本方針にも適合させる形で施策を構築していく。

③基金の活用は、年度間における財政運営の健全性を担保しつつ、第5次総合計画に適合した各種施策に積極的に活用していきたい。

質問 ①村長の言う「未来に誇れる活力ある村づくり」とは。

②第5次総合計画では平成35年の将来人口は2千500人となっていく。しかし、現在は毎年人口が3%減って、現在は2千370人程度である。地方創生事業の将来人口ビジョンとの整合性をどう

④檜原村が世界遺産に匹敵する価値があるかどうかを判断することは困難であるが、今後もすばらしい村を未来に継承していくための行財政運営に努めていきたい。

次ページへつづく

教育行政について

檜原中学校は東京五輪の推進校に指定

質問 ①教育長の考える「教育」とは。

②実施計画では村の歴史、伝統文化、芸術の活用について郷土資料館の3千万円の改修事業は良いが、他の拡充、取り組みは。

③東京五輪への教育行政の取り組みは。

教育長 ①人間社会を善良な人々で繁栄させる世界をつくりあげること。人は生まれてから死ぬまで、常に学び、学習するように生かされていると考えている。

②伝統文化については伝統芸能を一堂に介し、郷土芸能祭の実施や村技芸保存奨励金による支援を行っている。また芸術については、東京都交響楽団やウインからの演奏家を招いて住民への理解を周知している。

③檜原中学校は東京五輪の教育推進校に指定されている。日本の伝統的な礼儀、作法、国際マナー、習慣などの学習を行っている。

いく。

質問 学校給食も「食育」として重要であるが、食材納入15業者のうち村内業者は5つだけ。

産業振興と協議して村内業者との取引を拡大すべきでは。

教育課長 食材の使用量が少ないとかで引き受けていただけないようなケースもある。安定供給していただけるなら村内業者を今後も使いたい。

9月議会のお知らせ
(予定)

- 定例会初日 9月4日(金)
- 常任委員会 9月10日(木)
- 9月11日(金)
- 決算特別委員会 9月15日(火)
- 定例会最終日 9月18日(金)

ご案内

皆様の「声」を掲載します

議会は新たな議員構成となり、議会だより編集委員会も新メンバーで皆様と議会を結ぶ大切な役割を果たしてまいります。

皆様からの「声」も届けていただけるような親しめる議会だよりにするため、議会傍聴者の声や郵送やメール等でいただく「声」など、可能な限り紙面で紹介していきたいと考えています。

掲載についての規定は次のとおりです。

1 掲載字数は400字以内とします。

2 掲載希望のご意見については、原則、記名で投稿していただき、掲載時に匿名を希望する場合は、その旨を記載してください。

※ 要旨を変えずに要約することとがありますのでご了承ください。

3 ご意見の掲載は1号につき3名までとし、掲載希望者が多い場合は翌号で掲載します。

4 誹謗中傷は取り扱いません。

5 意見に対して回答可能なものは議会で協議し回答させていただきます。

議会を傍聴しませんか

傍聴される方は、議会事務局入口で「議会傍聴届」に必要事項を記入していただいた後「議会傍聴券」を発行いたしますので、「議会傍聴券」をお持ちになり議場へ入場してください。

お問い合わせは、議会事務局へ TEL 598-1011

編集後記

お盆が近づいたので仏壇を整理した。奥から色あせた封筒が出てきた。開けてみると軍事郵便で検閲済となっていた。

手紙は海軍に属していた伯父から家族に宛てたもので「お便り有難く拝見させていただきました。遠く離れた戦線下ではございませうが、皆様お元気で暮らしたのことで安心しました。お祖母様にはお身体を大切になさるよう申し伝え下さい。」と結ばれていた。

数ヶ月後、伯父は軍艦とともに海中へ沈んだ。享年25歳だった。

伯父のように、この大戦で戦い、犠牲になられた方は213万人余と言われている。今の平和がこの尊い犠牲の上にあるということ忘れてはならない。平和な日本であり続けていくためにも。今年15日は、終戦70年の節目を迎える。

今回より、議会だよりは新人4人で編集いたします。ご意見・ご要望等をお待ちしています。

- 委員長 峰岸 茂
- 副委員長 清水 満男
- 委員 浜中 由造
- 吉川 洋